

# パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2014年10月1日 133号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 第14回国際協力青年奉仕隊特集



ディアナ村の学校のペンキ塗りを終えて



二十九日は、生徒たちと共に、森で腐葉土を集めた後、グループごとに植樹活動をしました。隊員たちは、子供たちの純真な協力ぶりと笑顔に、自分たちが心から歓迎されていることを実感しました。校長先生は、青年たちを迎えられた自分たちの村が、他の村からうらやましがられていると話していました。

三十日は、植樹と併せ、校舎のペンキを塗り直しました。その午後、青年と生徒たちは練習してきた踊りや武道の演舞を相互に披露し、また折り紙、習字、スポーツを通して、楽しい雰囲気の中で心情を交流しました。(二面に続く)

翌二十八日、午前七時にバスで出発。(左上の写真) 長駆九時間以上をかけ、猛烈な砂塵と悪路の旅をこなし、マリア村とバイア・ネグラ市を経て午後五時ディアナ村に到着しました。待ちわびていた学校の先生と生徒たちの熱い歓迎を受け、旅の疲れも吹き飛んだかのように元気づく荷物を下ろしました。

第十四回国際協力青年奉仕隊は、本年八月二十五日から九月十日まで、パラグアイ共和国アルト・パラグアイ州の先住民コミュニティ、ディアナ村、及びアルト・パラナ州エルナンデリアスにおいて、植樹と勤労奉仕を中心に、文化・スポーツ交流などを活発に実行し、国境や文化を越えて相互理解と信頼関係いっそうを深めました。奉仕隊は日本から十二名と米国からの三名に加えて長期奉仕の二名を、ベテラン柴沼事務局長が引率しました。二十七日、首都アスンシオンから、乾燥チャコ地方内陸部のローマ・プラタにバスで移動。キリスト教メノール派の移民が苦闘を経て建設した町で、ミルク工場や開拓史博物館を見学しました。

奉仕隊を待ちわびていたディアナ村の人々、植樹・奉仕・文化スポーツで純心の交流





森で植樹用の腐葉土を集める。



立ち寄ったマリア・アウシリアドーラ村にて



校舎のペンキ塗りは白と緑のツートーン。



ディアナの校長先生が歓迎の挨拶を述べる。

(一面より続く) 八月三十一日は、サッカー場への植樹と学校の小さな農園に野菜の苗を植える作業を行いました。そして午前九時から歓送会が始まり、初めに校長先生から感謝の挨拶、そして学校の先生方からレダ基地と各隊員一人一人にプレゼントが渡されました。そして皆で一つになって踊り、心情の輪



別れは辛いけど、心はいつまでも。



レダへのプレゼント。左は中田所長。

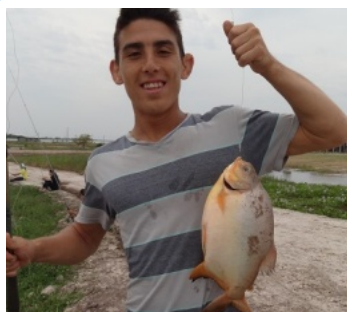
が広がって行きました。踊りながら別れを感じ、涙する先生や生徒の姿が印象的でした。最後に船着場で別れを惜しみながらプレゼントを交換し、写真を撮り、抱き合い、固い握手をしながら別れ、多くの人々に見送られてレダ基地にボートで移動しました。九月一日は、中田所長より、レダ基地の歴史と現



ディアナの人々に見送られてレダへ。



音楽に合わせ統一武道の演技を披露する生徒たち



パクーが釣れた！



レダ基地で乗馬体験。



レダ基地のブタランドを見学。かわいい！

状を現場で学びました。豚ランドに行き、楽しいひと時を過ごし、その後、開拓の味を少しでも体験するため、ヤシの木を各自が斧で切り倒す恒例のハードな体験をしました。午後は乗馬体験、夜は電気を止めて、美しく輝く星を眺めました。二日は、参加者が二、三人ごとの組になってお互いの紹介や、未来の抱負などを話し合う時間を持ちました。午後は釣りの時間で、皆で川岸からパクーやピラニアなどを釣り上げました。三日は移動日。セスナ機でアスンシオンに飛び、荷物を整理した後、バスに七時間乗ってエルナンドリアス市に移動し、ホテルで宿泊しました。四日は世界遺産イグアスの滝を見学。自然の雄大さを通して神様の創造の心情を感じることができ、青年たちにはとても感動的な経験になりました。(三面に続く)



(二面より続く)五日はエルナンドリアス市の植樹キャンペーンです。開会式前から地元の生徒たちと青年たちが意気投合し、とてもよい雰囲気になりました。式では青年を代表し、倉員隊長が挨拶。そしてアスンシオン事務局の中井氏が今まで東部で実行してきた青年奉仕隊の活動を中心に植樹活動などを報告しました。最後に市長が青年奉仕隊への感謝と環境保全活動の重要性を話されました。その後、市長と柴沼事務局長と一緒に植樹、隊員と学生が5つのグループになって、一斉に植樹をしました。

六日の朝はアスンシオンのABC新聞社を訪問し、活動報告をしました。その後、市内で買い物をしました。午後は森林保全、養殖などのシンポジウムに参加しました。中でも佐野氏によるレダの歴史と活動の紹介はユーモアも交え、好評を博しました。

七日はパラグアイの青年たちとサッカーの試合で激しくプレーしました。最後の夜は、遅くまで家族的な空気の中に交流会を持ちました。

八日は日本への出発日。午前九時半、全員元氣よ



水煙を上げる世界遺産イグアスの滝



イグアスの滝壺に接近するためのボート

く帰国の途に就きました。青年たちは、毎日早朝に内省の時間を持ち、日中は心身ともエネルギー全開で奉仕活動に取り組みました。参加者たちにとって、今後とも国際的な見識やリーダー的資質を育む上で、有意義な体験に満ちた期間でした。(柴沼記)



エルナンドリアスの高校生たちと交流



最後の夜、パラグアイの青年たちとともに

### 参加者の感想文より

★肥料を取りに行った時も子供たちが手伝ってくれたり、荷物を持って来てくれたりして、無条件の愛を感じました。本当の幸せは、物がたくさんあって、欲しい物が買えて、家が大きいとかいうことではなく、人の為に生きるとき、真の愛を感じているときに輝くのだと感じました。自分がこの活動に携われたことがとても誇りに思います。(篠崎)

★ぼくたち奉仕隊はまだ何もしてないのに村の人たちはたくさん尽くしてくださった。食事、就寝場所、水、奉仕作業の準備、何から何までこちらが奉仕されてばかりだった。村の人たちは私たちに何か

してもらいたいという思いはまったくなくて、純粹に日本から来た私たちをもてなしたい、喜ばせたいという一心でいた。村の人たちと言葉はほとんど通じなかったけれど、笑顔だけは唯一の共通言語だった。(木村)

★最終日に子供達と一緒に踊ったんですが、その時に泣きながら踊ってくれる子もいて、その姿を見たときに私達が来ることをとても心待ちにしてくれていて別れを惜しんでくれているのを感じました。そして、精一杯踊ってくれる子供達の姿を見ると、私も涙が出てきて神様もきつとそのように思っているんだろうなと感じました。(井上)

★ある一人の男の子に、こちらで準備したものをプレゼントしました。その子は奪い取るような感じとそのプレゼントを受け取りました。その瞬間に僕の純粹ではない心がまた考え始めました。もしや彼らは受け取るのを前提にしているのではないのか？後で帰ってきたその子の手には何か荷物がありました。渡された袋の中にはおそらく手作りであろうカゴが入っていました。その子がお札にくれたのでした。ホントに感動して泣きそうになりました。(斉藤)

★私たちが滞在した三日間でできた植樹、ペンキ塗り、日本の文化を伝える事、遊ぶこと。でも彼らは私たちが帰った後、大きな喪失感や寂しさを感じるのではないのか。一時的に夢や楽しさを与えただけではないのか。私が継続して日本にいるときにできることはなにか。地球の裏側の子供たちに名前を呼んでもらい、遊んでもらい、もう一度行きたいと思える場所の為にこれからの生活で少しずつ、データと自分の心情を整理しながら歩んでいきたい。(染谷)



## チャリティーコンサート開催される

マンドリンの調べに乗って美しい心にしみる歌声が会場の人々の心を感動させました。

去る八月三十日、横浜市青葉区のしらとりホールにおいて、当会の活動を支援する実行委員会が主催で、マンドリンシンガー・清心（きよみ）さんをメインに、ゲストアーティストに女性ボーカルグループのアイ・エム・オーを迎え、楽しいコンサートのひと時が開かれました。



チャリティーコンサート出演者と実行委員会の皆様（しらとりホール）

終始和やかな雰囲気の中、一九〇名からの観客で一杯のホールは、何回も拍手がわきました。開会に先立ち、当会のビデオを上映、代表として当会の飯野会長が挨拶しました。ポストカードや写真なども販売され、多くの方々の関心をよびました。参加者の皆様、ご協力頂いたすべての皆様、心から感謝申し上げます。

## 森造りに力を入れる新日鐵住金君津製鉄所とイオン幕張新都心店を見学

九月九日、千葉県の新日鐵住金君津製鉄所とイオン幕張新都心店を見学しました。両社とも宮脇昭博士による本物の森づくりの指導を忠実に実行し、地球環境保全に真剣に務めている企業です。

新日鐵住金は国内十六ヶ所の全事業所に、総計一千万本弱を植樹しました。今回見学した君津製鉄所は、来日する国家元首級の多くが見学に訪れる工場です。植樹後三十五年経った郷土の森は見事でした。イオンは植樹活動を「お客様と共に」行う事を主眼とし、現在は店舗周りに植樹をしてから店舗をオープンしています。現在国内と海外八ヶ国で植樹千万本を達成しています。



植樹後35年経った「郷土の森」で、広報室の辻氏の説明を受けました。構内に220種が植えられています。国内16か所の事業所に、総計1千万本弱を植樹し、現在6万本の苗木を育成中とのことです。

### 一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール : office@asd-nsa.jp

ホームページ : <http://www.asd-nsa.jp>

### 会員種別

♠ 一般会員500円/月（半年3000円又は一年6000円で送金願います。）

♠ 正会員一口1000円/月（お詫び：3000円は誤りでした）

♠ 法人会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告。

正会員、法人会員の会費は、毎月の引き落とし方式です。入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定、ご案内いたします。

一般会員の方は、左記の口座宛て会費をご入金ください。

♥ 入会申込書は、ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf>